

令和6年度「主要施策の成果に関する説明書」の概要
「いわて県民計画（2019～2028）実施状況報告書」

令和7年9月25日
政策企画部政策企画課

1 位置付け

- (1) 地方自治法(昭和22年法律第67号)第233条第5項の規定に基づき県議会に提出する決算附属書類
- (2) 県行政に関する基本的な計画の議決に関する条例(平成15年岩手県条例第59号)第5条の規定に基づく県議会への報告書類

2 内容と構成

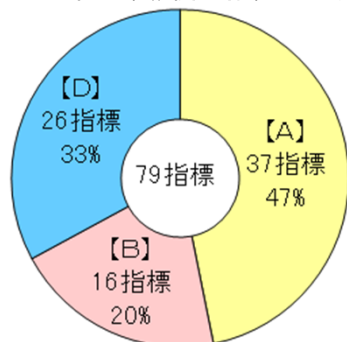
- (1) 「いわて県民計画（2019～2028）」の第2期アクションプラン・政策推進プラン（令和5年度～令和8年度）に掲げる各種指標の令和6年度目標に対する同年度末時点の達成状況を示すもの
- (2) 10の政策分野及び50の政策項目について、指標の達成状況、主な取組事項、指標一覧表等を掲載

3 政策推進プランの達成状況

- (1) いわて幸福関連指標 79 (85) ※の「概ね達成【B】」以上の割合は67%となりました。
※ 指標数の()内は、未確定等指標を含む全指標数。(2)も同じ。
＜10の政策分野の状況＞
 - 「達成【A】」・「概ね達成【B】」の割合が高い政策分野
「Ⅶ 歴史・文化」 100% (3指標のうち3指標)
「Ⅷ 自然環境」 100% (5指標のうち5指標)
 - 「やや遅れ【C】」・「遅れ【D】」の割合が高い政策分野
「Ⅱ 家族・子育て」 67% (6指標のうち4指標)
「Ⅳ 居住環境・コミュニティ」 57% (7指標のうち4指標)
「Ⅹ 参画」 57% (7指標のうち4指標)
- (2) 具体的推進方策指標 472 (490) の「概ね達成【B】」以上の割合は80%となりました。
＜10の政策分野の状況＞
 - 「達成【A】」・「概ね達成【B】」の割合が高い政策分野
「Ⅷ 自然環境」 93% (28指標のうち26指標)
「Ⅶ 歴史・文化」 88% (8指標のうち7指標)
「Ⅸ 社会基盤」 88% (42指標のうち37指標)
 - 「やや遅れ【C】」・「遅れ【D】」の割合が高い政策分野
「Ⅳ 居住環境・コミュニティ」 31% (36指標のうち11指標)
「Ⅰ 健康・余暇」 28% (65指標のうち18指標)
- (3) 令和8年度の最終目標に対する進捗状況（計画期間4年間の2年目時点）について、進捗率50%以上の指標は、いわて幸福関連指標が46%、具体的推進方策指標が67%となりました。
- (4) 年度後半に実施する「政策形成支援評価」では、今回の指標の達成状況と併せ、社会経済情勢等も含めた詳細な分析を行い、政策推進プランの施策に反映させていきます。

- いわて幸福関連指標：10の政策分野における幸福に関連する客観的な指標
- 具体的推進方策指標：県が主体となって具体に取り組む施策に関連する客観的な指標
- 達成度の見方：「達成【A】」：100%以上、「概ね達成【B】」：80%以上100%未満、「やや遅れ【C】」：60%以上80%未満、「遅れ【D】」：60%未満

(1) いわて幸福関連指標の達成状況



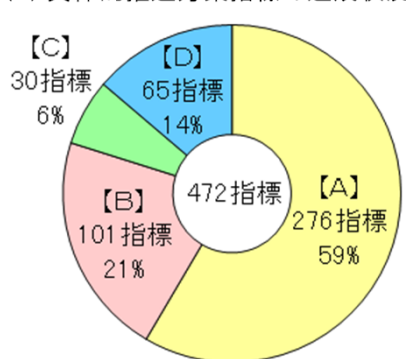
「達成【A】」又は「概ね達成【B】」
53指標(67%)
「やや遅れ【C】」又は「遅れ【D】」
26指標(33%)

＜10の政策分野ごとの達成状況＞

達成度		達成【A】	概ね達成【B】	やや遅れ【C】	遅れ【D】
政策分野	指標数	37 (47%)	16 (20%)	0 (0%)	26 (33%)
I 健康・余暇	9	5 (56%)	0 (0%)	0 (0%)	4 (44%)
II 家族・子育て	6	2 (33%)	0 (0%)	0 (0%)	4 (67%)
III 教育	18	8 (44%)	7 (39%)	0 (0%)	3 (17%)
IV 居住環境・コミュニティ	7	2 (29%)	1 (14%)	0 (0%)	4 (57%)
V 安全	5	2 (40%)	1 (20%)	0 (0%)	2 (40%)
VI 仕事・収入	14	7 (50%)	4 (29%)	0 (0%)	3 (21%)
VII 歴史・文化	3	3 (100%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)
VIII 自然環境	5	4 (80%)	1 (20%)	0 (0%)	0 (0%)
IX 社会基盤	5	2 (40%)	1 (20%)	0 (0%)	2 (40%)
X 参画	7	2 (29%)	1 (14%)	0 (0%)	4 (57%)

注：構成比は小数点以下を四捨五入しているため、合計で100とならない場合がある。

(2) 具体的推進方策指標の達成状況



「達成【A】」又は「概ね達成【B】」
377指標(80%)
「やや遅れ【C】」又は「遅れ【D】」
95指標(20%)

(3) 最終目標(令和8年度)に対する進捗状況

政策分野名	いわて幸福関連指標		具体的推進方策指標	
	50%以上	50%未満	50%以上	50%未満
I 健康・余暇	5 (56%)	4 (44%)	37 (57%)	28 (43%)
II 家族・子育て	2 (33%)	4 (67%)	30 (68%)	14 (32%)
III 教育	7 (39%)	11 (61%)	61 (65%)	33 (35%)
IV 居住環境・コミュニティ	3 (43%)	4 (57%)	25 (69%)	11 (31%)
V 安全	1 (20%)	4 (80%)	18 (62%)	11 (38%)
VI 仕事・収入	8 (57%)	6 (43%)	76 (75%)	26 (25%)
VII 歴史・文化	3 (100%)	0 (0%)	7 (88%)	1 (13%)
VIII 自然環境	4 (80%)	1 (20%)	20 (71%)	8 (29%)
IX 社会基盤	2 (40%)	3 (60%)	28 (67%)	14 (33%)
X 参画	1 (14%)	6 (86%)	16 (67%)	8 (33%)
合計	36 (46%)	43 (54%)	318 (67%)	154 (33%)

注：構成比は小数点以下を四捨五入しているため、合計で100とならない場合がある。

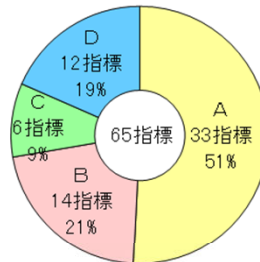
4 10の政策分野ごとの具体的推進方策の状況

凡例 ①「概ね達成【B】」以上の指標が半分以上の主な具体的推進方策
②「やや遅れ【C】」又は「遅れ【D】」の指標が見られる主な具体的推進方策

I 健康・余暇 <「概ね達成【B】」以上の割合 72%>

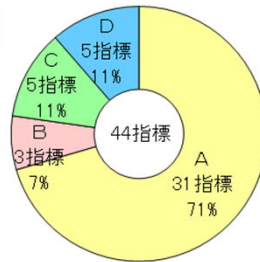
- ①「障がい者の文化芸術活動の推進」、「岩手ならではの学習機会の提供」等
- ②「生涯を通じた健康づくりの推進」等

特定健康診査受診率：全国平均を上回る数値を維持していますが、市町村国保実施分についてはコロナ禍前の水準には届いておらず、特に若い世代における受診率が低い傾向となりました。



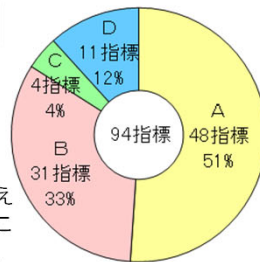
II 家族・子育て <「概ね達成【B】」以上の割合 78%>

- ①「愛着を持てる地域づくりの推進」、「動物愛護の意識を高める取組の推進」等
- ②「仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)の推進」等
放課後児童クラブの待機児童数(5月時点)：一部の市町村において、登録児童数が増加したことや、施設・従事者不足により受入児童数の拡大が困難であったことなどにより、待機児童数が増加しました。



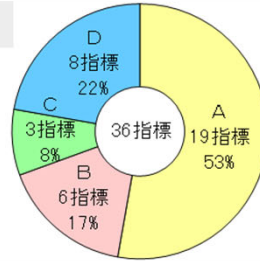
III 教育 <「概ね達成【B】」以上の割合 84%>

- ①「各校種における指導・支援の充実」、「多様な教育ニーズに対応する教育機会の確保」等
- ②「「いわての復興教育」などの推進」等
自分の住む地域が好きだと思っている児童生徒の割合(小学生、中学生)：少子化により、地域活動等の継続が困難になっている地域が増えていることや、教育課程の見直しで地域と関わる学校行事が減少したことなどにより、自分の住む地域の良さを実感する機会が減少しました。



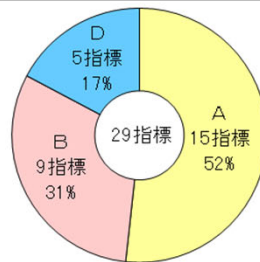
IV 居住環境・コミュニティ<「概ね達成【B】」以上の割合 70%>

- ①「文化芸術を生かした人的・経済的な交流の推進」、「スポーツを生かした人的・経済的な交流の推進」
- ②「自然と調和した衛生的で快適な生活環境の保全」等
汚水処理人口普及率(浄化槽)：家屋の老朽化や経済的な理由等により浄化槽の設置を希望する世帯数が伸び悩んだことなどにより、目標値を下回りました。



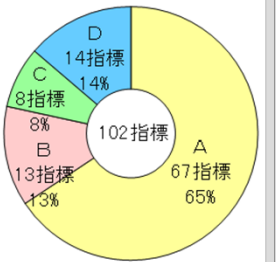
V 安全 <「概ね達成【B】」以上の割合 83%>

- ①「地域に根ざした食育と食を楽しむ環境づくりの推進」、「家畜衛生対策の推進と危機事案発生時の体制強化」等
- ②「地域ぐるみでの防犯意識の高揚に向けた取組の推進」等
特殊詐欺の高齢者の被害件数：特殊詐欺全体の被害件数が大幅に増加したため、高齢者の被害件数も増加しました。



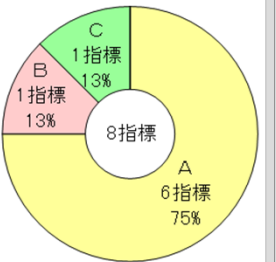
VI 仕事・収入 <「概ね達成【B】」以上の割合 78%>

- ①「企業のライフステージに対応した切れ目のない金融支援」、「伝統工芸・漆・アパレルなど地場産業の経営力向上への支援」等
- ②「県内就業の促進及びU・Iターンによる人材確保の推進」等
U・Iターン就職者数〔累計〕：全国的な人手不足の中、正社員の求人数や賃金水準の差等を背景に東京圏への転入超過の状況が続くなど、就業者の東京一極集中への動きが見られることにより、本県におけるU・Iターン就職が計画どおりに進みませんでした。



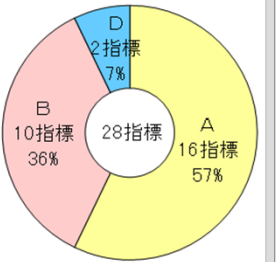
VII 歴史・文化 <「概ね達成【B】」以上の割合 88%>

- ①「3つの世界遺産の連携・交流の推進」、「民俗芸能の公演発表などによる、伝統文化への理解促進と情報発信」等
- ②「世界遺産の価値の普及と魅力の発信」
世界遺産ガイダンス施設等入館者数：令和5年度より入館者数は増加したものの、各施設におけるイベント情報等の発信が不十分だった影響もあり、伸び悩みました。



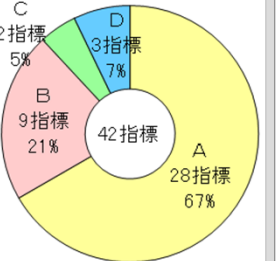
VIII 自然環境 <「概ね達成【B】」以上の割合 93%>

- ①「良好な大気・水環境の保全と環境負荷低減に向けた取組の促進」、「地球温暖化に伴う気候変動の影響への適応」等
- ②「適切な森林整備等の取組推進による吸収源対策」等
再造林面積：前年度から増加したものの、木材の需要減に伴う主伐面積の減少が続く、その後の再造林の面積も伸び悩みました。



IX 社会基盤 <「概ね達成【B】」以上の割合 88%>

- ①「公共建築物等の耐震化による安全の確保」、「建設業における労働環境の整備、技術力・生産性の向上、経営基盤の強化」等
- ②「港湾の整備と利活用の促進」等
港湾におけるコンテナ貨物取扱数(実入り)：全国的にコロナ禍で落ち込んだ貨物取扱量が回復していないことに加え、中国等の景気減速や円安の影響により、線材や冷凍・冷蔵品の輸移出が減少するなど取扱数が伸び悩みました。



X 参画 <「概ね達成【B】」以上の割合 75%>

- ①「若者の活躍支援」、「女性の活躍支援」等
- ②「高齢者の社会貢献活動の促進」等
住民主体の生活援助等サービスを実施している保険者数：サービスを実施していない保険者の多くが、地域住民の高齢化等のため十分な担い手の確保に至らず、保険者数が伸び悩みました。

